

議会だより

平成20年9月定例会



スポーツの秋
(市民体育祭)



実りの秋
(川藤地内)

秋

主な内容

- ②～③…………… 9月定例会の概要
- ④～⑤…………… 決算討論
- ⑥…………… 審議結果

- ⑦…………… 議員研修会 等
- ⑧～⑩…………… 常任委員会の審査概要
- ⑪～⑮…………… 市政に対する一般質問

9月定例会



議案の上程

9月定例会は、9月2日から9月24日までの会期で開催されました。今定例会では、20件の市長提出議案、6件の議員提出議案が上程され、いずれも慎重に審議が行われました。一般質問は11人の議員が行いました。要約したものを11ページから掲載していますのでご覧ください。

市長提出議案

条例等

第49号議案 吉川市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例

株式会社日本政策金融公庫法の施行に伴う関係法律の整備に関する法律第9条による公庫の予算及び決算に関する法律の一部改正に伴い、用語の整理をするものです。

第50号議案 吉川市特別職報酬等審議会条例及び議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

地方自治法の一部改正に伴い、議会の議員の「報酬」を「議員報酬」に改めるものです。

第51号議案 吉川市都市計画条例

平成21年度から都市計画税を導入させていただくため、都市計画税の課税の根拠、納税義務者、税率、賦課期日、納期、賦課徴収の方法などを規定するものです。

なお、都市計画税は、都市計画法に基づいて行う都市計画事業や土地区画整理事業に基づいて行う土地区画整理事業に要する費用に充てるための目的税として、課税するものです。

第52号議案 一般社団法人及び一般財団法人に関する法律等の施行に伴う関係条例の整備等に関する条例

一般社団法人及び一般財団法人に関する法律などの施行

に伴う条例の所要の整備と文言の整理をするものです。

第53号議案 市道の路線認定及び廃止について

吉川駅南土地区画整理事業の道路の一部の市への移管に伴う路線の認定と道路の払下げに伴う路線の廃止を行うものです。

〈路線廃止〉
・1-1303号線（上内川）
〈路線認定〉
・2-123号線

ほか15路線
（駅南特定土地区画整理事業地）

第54号議案 工事請負契約の締結について

吉川中央第1調整池排水機場機械設備工事について制限付き一般競争入札を行うこととし、6月16日に告示を行い、吉川市建設工事等電子入札運用基準に基づき、埼玉県電子入札共同システムにより入札を行ったものです。

入札については、4者の参加申込みがあり、荏原商事株式会社 関東支社が2億2995万円で落札し、仮契約を締結しました。



吉川中央第一調整池

以上、吉川市議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第2条の規定により、提案するものです。

第55号議案 教育委員会委員の任命について

教育委員の飯田成寿氏が平成20年9月30日をもって任期満了となるため、その後任者に五十嵐修氏を任命することについて同意を求めるものです。

決算

第56号議案 平成19年度吉川市一般会計歳入歳出決算の認定について

〈収入済額〉

170億5748万8463円

〈支出済額〉

163億481万3980円

第57号議案 平成19年度吉川市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について

〈収入済額〉

67億4481万4851円

〈支出済額〉

64億5457万4257円

第58号議案 平成19年度吉川市下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について

〈収入済額〉

20億4326万4095円

〈支出済額〉

20億3229万5010円

第59号議案 平成19年度吉川市老人保健特別会計歳入歳出決算の認定について

〈収入済額〉

29億3549万2216円

〈支出済額〉
29億2953万7802円

第60号議案 平成19年度吉川市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について

〈収入済額〉

3581万7630円

〈支出済額〉

3572万4384円

第61号議案 平成19年度吉川市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について

〈収入済額〉

19億3406万8222円

〈支出済額〉

18億4851万4192円

第62号議案 平成19年度吉川市水道事業会計決算の認定について

〈収益的収入〉

14億1939万1711円

〈収益的支出〉

13億1630万6074円

〈資本的収入〉

2億1659万8637円

〈資本的支出〉

6億8246万2192円

補正予算

第63号議案 平成20年度吉川市一般会計補正予算(第2号)

13億3473万1千円を追加

〈主な内容〉

・食育推進計画策定に向けての意識調査や基礎調査の委託料
・防犯活動拠点の運営に向けた経費や備品購入費
・南中学校耐震補強・大規模改修設計委託料
・道路改良工事費・市道の修繕費

第64号議案 平成20年度吉川市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

8億2356万1千円の追加

〈主な内容〉

・一般被保険者療養給付費、退職被保険者等療養費 など

第65号議案 平成20年度吉川市下水道事業特別会計補正予算(第1号)

1553万6千円の追加

〈主な内容〉
・下水道事業特別会計運営事業費の減額や国庫補助金の増額に伴う公共下水道事業費の増額

第66号議案 平成20年度吉川市老人保健特別会計補正予算(第1号)

4853万8千円を追加

〈主な内容〉

・県負担金などの返還金
・一般会計から繰入れた費用の清算分としての繰出金の増額

第67号議案 平成20年度吉川市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)

52万5千円を追加

〈主な内容〉

・需用費の増額

第68号議案 平成20年度吉川市介護保険特別会計補正予算(第1号)

8459万9千円を追加

〈主な内容〉

・前年度分の国などへの給付費負担金の返還金

議員提出議案

議員提出第15号 子育て支援策の拡充を求める意見書

議員提出第16号 太陽光発電システムのさらなる普及促進を求める意見書

議員提出第17号 燃料、肥料、飼料農業資材の価格高騰に対する緊急対策を求める意見書

議員提出第18号 公的保育制度の堅持・拡充と保育・児童保育・子育て支援予算の大幅増額を求める意見書

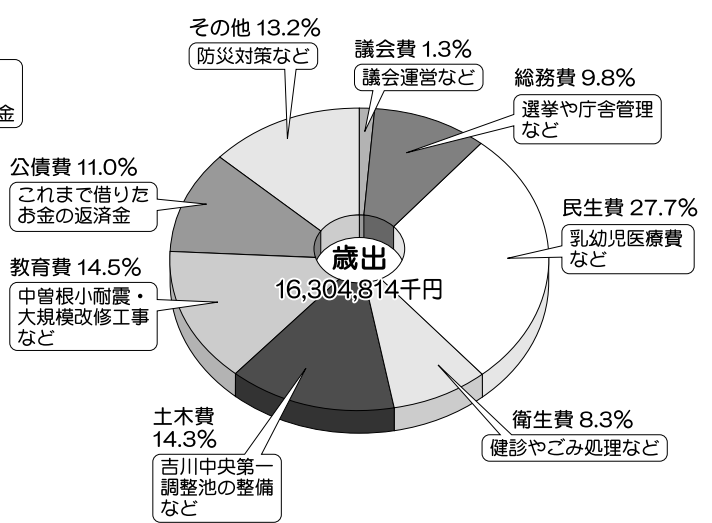
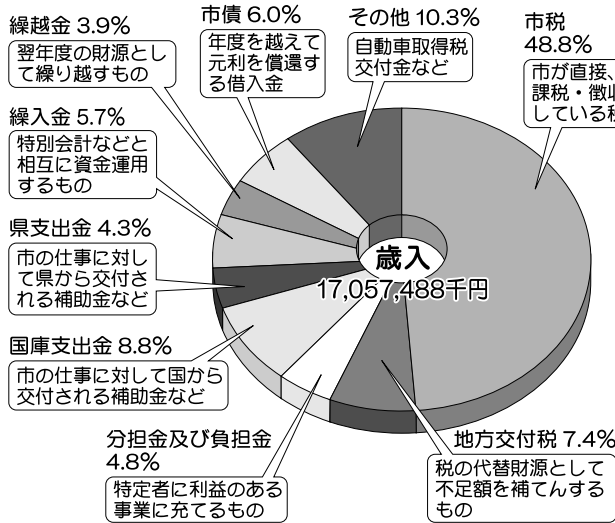
議員提出第19号 「協同労働の協同組合法(仮称)」の速やかな制定を求める意見書

議員提出第20号 社会保障費を毎年2200億円削減する方針の撤回を求める意見書

※議員提出議案の可決により、関係機関に提出した意見書は、吉川市議会のホームページでご覧いただけます。

平成19年度

一般会計歳入歳出決算



【主な事業】

・自治会活動支援事業	4,025万4千円
・防災対策事業	1,436万6千円
・東埼玉テクノポリス工業団地拡張調整事業	303万4千円
・医療費支給事業	1億4,448万3千円
・児童手当支給事業	5億2,498万5千円
・武蔵野操車場跡地及び周辺地区整備事業	5,389万4千円
・都市計画街路整備事業	6,469万1千円
・学校施設整備事業 (小学校)	4億5,151万7千円

一般会計決算の特徴は、この数年の財政状況とは異なり使い残しが7億1千903万8千円もあり、単年度で見ても1億1千653万円の黒字だという点です。これは高齢者や障がいを持つ方、子どもたちまで市民すべてのサービスを一律に切り捨て、負担を押しつけてきた結果です。

自民・公明連立政権のもとで、市民生活は大変厳しい状況になり、平成14年と19年を比較すると年間24万円以上も収入が減っています。その上、定率減税の廃止で1億5千200万円もの増税です。

国の悪政が市民の暮らしを直撃しているもとで、住民の福祉と暮らしを守る、この姿勢に立つことが一番重要です。繰り返し市民とともに要望してきた子ども医療費無料化の窓口払いが7月1日より廃

**一般会計
決算討論**

反対討論

日本共産党吉川市議員団
遠藤 義法

止されたことや関小学校でのきこえの教室の実施、中曽根小学校の耐震補強と大規模改修の実施、関学童保育室の教室増設と台所設置などの事業については評価をし、今後の充実、拡充を求めます。

しかし、生活保護費の減、市民バスや60歳以上70歳までの施設利用無料化が廃止されたことで、プールなどの施設利用者が目に見えて減少しています。子どもたちの身近な教育環境整備の要望は至急解決をすべきです。

賛成討論

公明党吉川市議員団
五十嵐恵千子

平成19年度吉川市一般会計歳入歳出決算の認定について、

道路関係では、「安心・安全全面から優先的に予算措置を図るべき」との付帯意見が決議されているにもかかわらず、年々決算額が減り続けていることは問題です。

農家の経営は厳しく、実態を正確に把握し、必要な施策を実施、政府へも支援策を求めることが大事であります。

決算討論

公明党を代表し、賛成の立場で討論します。

平成19年度の決算額は、歳出総額163億481万4千円、前年度と比べ4億1千124万2千円の減。また、歳入総額は170億5千748万8千円で、前年度と比べ3億2千293万7千円の減となっております。

歳出の主な特徴としては、児童手当制度の拡充などによる扶助費の増額、普通建設事業費については、中央中学校の耐震・大規模改修工事の終了での減などが挙げられます。歳出におきましては、所得譲与税から個人住民税に税源移譲されたことや、定率減税が廃止されたことから、地方税が増となった反面、地方交付税、国庫支出金が減になったことや、地方債の抑制などによって、総額では減少しているものです。このような中で「財政健全化の取り組み」の推進、国・県補助金、支出金や市債の発行など特定財源を効率的・効果的に活用したと認識しております。

①「市民活動補償制度」創設。注目すべき幾つかの点は、

- ②乳幼児医療費窓口払い廃止。
- ③児童虐待防止「吉川市要保護児童対策地域協議会の設置。
- ④洪水ハザードマップの作成。
- ⑤吉川市防犯推進計画の策定。
- ⑥吉川中央第1調整池の整備。
- ⑦「二店逸品事業」の推進。
- ⑧「吉川市民講座」の充実。
- ⑨中曽根小耐震・大規模工事などが挙げられます。

今後、市民生活の安定と質の高いサービス提供に主眼を置き、財源の確保策と財政健全化への取り組みをさらに推進することを強く要望いたします。

賛成討論

自由民主党吉川市議員団
山崎 勝他

平成19年度吉川市一般会計歳入歳出決算の認定について賛成の立場で討論いたします。

平成19年度の決算額は歳出総額およそ163億500万円であり、対前年度比4億1千100万円の減、率で2.5%の減となっております。歳入総額は、およそ170億5千700万円であり、対前年度比3億2千300万円の減とな

っています。市税については、三位一体改革による税源移譲や定率減税の廃止などで、およそ7億8千500万円の増となりましたが、その反面、地方譲与税は4億3千800万円の減です。また、減税補てん特例交付金、減税補てん債を合わせて2億7千100万円の減。地方交付税も1億2千300万円の減となっております。地方にとっては依然として厳しい状況下であります。

今後、自主財源の確保を図るとともに、国、県の補助金制度の有効的な活用を図り、活力あるまちづくりの推進をお願いいたします。

次に、総合振興計画のテーマに沿って見ると、「安全安心のまちづくり」でその実現に向け防犯推進計画が策定され、市民の身近な場所が発生する街頭犯罪などに対し大きな予防効果が発揮できるものと思えます。「子どもを産み育てられるまちづくり」は保育所入所待機児童対策に民間保育所が開設されたこと、仕事と子育ての両立支援に資するものと評価しております。他の事業も限られた財源の中、

賛成討論

市民改革クラブ
伊藤 正勝

工夫、節減しながら初期の目的を達成されています。今後も本格的な分権時代に入り、地方交付税の削減が予想されることから収納率の向上に努めるとともに財政の健全化の推進を期待します。

平成19年度決算は、吉川の「財政健全化3カ年計画」の中間の年。厳しい財政事情や国の三位一体改革による財政構造の変化に対応しながら、大筋において苦心の編成と予算の執行であったと受けとめている。事務事業評価の内容は、574事業に及び平成20年度には施策ごとの評価システム、資産、負債の全体がわかる新会計制度の導入も予定されている。そのことを申し上げた上で以下の3点について特に留意を要望したい。

▽東埼玉テクノポリス拡張事業。この事業は新駅周辺整備事業を優先するとの理由で唐突に中断された。進出予定の関係企業、地権者、県出向の

専従の次長ら担当職員の驚き。損失と信用の失墜。22年度再開に努力するとの答弁もあつたが、説明と責任ある今後の取り組みを。

▽沼辺公園線改良工事。中央中学校前から吉川団地南のわずか435m。この道路改良が3カ年計画で3分の1ずつの実施へ。財政難とはいえ、あまりに杓子定規。利用者の利便、作業効率、予算執行の妥当性。おかしくないか。

▽きよみ野の防犯街灯工事。バス通りが暗く、平成19年度に4基設置。平成20年度以降も増基の予定。ここはUR・都市機構がまちづくりの一環として電線地中化の基盤整備を施しているが、吉川市は費用が2倍以上かかると地上に電線を張って整備。先行投資は生かされず景観上も問題。市に移管される前に点検し、UR負担で整備すべきことではなかったか。同じUR施行の「駅南」について、同じ誤りを繰り返すことのないよう留意して欲しい。

9 月 定 例 会 審 議 結 果

○=賛成・×=反対

議案番号	議 案 名	付託委員会	審議結果	自民	共産	公明	市改	民主
第49号	吉川市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例	省 略	原案可決	○	○	○	○	○
第50号	吉川市特別職報酬等審議会条例及び議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	省 略	原案可決	○	○	○	○	○
第51号	吉川市都市計画税条例	総務水道	原案可決	○	×	○	×	×
第52号	一般社団法人及び一般財団法人に関する法律等の施行に伴う関係条例の整備等に関する条例	省 略	原案可決	○	○	○	○	○
第53号	市道の路線認定及び廃止について	建設生活	原案可決	○	○	○	○	○
第54号	工事請負契約の締結について	建設生活	原案可決	○	○	○	○	○
第55号	教育委員会委員の任命について	省 略	同 意	○	○	○	○	○
第56号	平成19年度吉川市一般会計歳入歳出決算の認定について	各委員会	原案認定	○	×	○	○	×
第57号	平成19年度吉川市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	文教福祉	原案認定	○	×	○	○	×
第58号	平成19年度吉川市下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	建設生活	原案認定	○	○	○	○	○
第59号	平成19年度吉川市老人保健特別会計歳入歳出決算の認定について	文教福祉	原案認定	○	×	○	○	×
第60号	平成19年度吉川市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について	建設生活	原案認定	○	○	○	○	○
第61号	平成19年度吉川市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	文教福祉	原案認定	○	○	○	○	○
第62号	平成19年度吉川市水道事業会計決算の認定について	総務水道	原案認定	○	○	○	○	○
第63号	平成20年度吉川市一般会計補正予算（第2号）	各委員会	原案可決	○	×	○	○	○
第64号	平成20年度吉川市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	文教福祉	原案可決	○	×	○	○	×
第65号	平成20年度吉川市下水道事業特別会計補正予算（第1号）	建設生活	原案可決	○	○	○	○	○
第66号	平成20年度吉川市老人保健特別会計補正予算（第1号）	文教福祉	原案可決	○	○	○	○	○
第67号	平成20年度吉川市農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）	建設生活	原案可決	○	○	○	○	○
第68号	平成20年度吉川市介護保険特別会計補正予算（第1号）	文教福祉	原案可決	○	○	○	○	○

議員提出議案

◎=意見書を提出した会派

第15号	子育て支援策の拡充を求める意見書	省 略	原案可決	○	○	○	○	◎
第16号	太陽光発電システムのさらなる普及促進を求める意見書	省 略	原案可決	○	○	◎	○	○
第17号	燃料、肥料、飼料農業資材の価格高騰に対する緊急対策を求める意見書	省 略	原案可決	○	◎	○	○	○
第18号	公的保育制度の堅持・拡充と保育・学童保育・子育て支援予算の大幅増額を求める意見書	省 略	原案可決	○	◎	○	○	○
第19号	「協同労働の協同組合法(仮称)」の速やかな制定を求める意見書	省 略	原案可決	○	○	○	◎	○
第20号	社会保障費を毎年2,200億円削減する方針の撤回を求める意見書	省 略	原案可決	○	◎	○	○	○

自民=自由民主党吉川市議員団・共産=日本共産党吉川市議員団・公明=公明党吉川市議団・市改=市民改革クラブ・民主=民主党



議員研修会が 開催されました

平成20年7月25日 春日部市民文化会館において埼玉県議会議長会第4区議長会議員研修会が開催され、吉川市議会からは16人の議員が出席しました。研修会では、野村 稔氏を講師に迎え、「地方分権時代における議員の役割」についての講演がありました。

請願の出し方

【請願書記入例】



表紙(1枚目)

〇〇〇〇に関する請願

紹介議員 〇〇〇〇 ㊟
 〇〇〇〇 ㊟

請願者

住所 〇〇〇〇〇〇
氏名 〇〇〇〇 ㊟
郵便番号・電話番号
(団体名・代表者名㊟)

内容(2枚目)

1 件名……………について

2 要旨……………

3 理由……………
……………
……………

地方自治法第124条の規定により上記のとおり請願書を提出します

年 月 日

吉川市議会議長 様

- 次の要領で提出してください
- ①用紙はA4サイズを使用してください。
 - ②住所、氏名(法人および団体はその事務所の所在地、名称、代表者の氏名、電話番号、提出年月日を記載し押印してください。
 - ③記入例に従い、件名は端的に、要旨は簡潔に、理由は内容を詳しくご記入ください。
 - ④紹介議員2名の署名、または記名押印が必要です。
 - ⑤請願事項が複数の場合、1件につき1部を提出してください。
 - ⑥道路、用水などは正式名称を記入してください。
 - ⑦請願事項に関する地図や参考資料などがあれば添付してください。
 - ⑧「意見書の提出を求める請願」の場合は意見書案も添付してください。
 - ⑨招集日の7日前までに提出されたものをその議会で審査し、それ以後のものは次の議会で審査することになります。

ホームページをご覧ください

市議会議員の紹介や本会議の会議録、定例会の会期、一般質問通告など、ホームページでご覧になれます。ぜひ、ご利用ください。



《吉川市議会ホームページアドレス》
<http://www.city.yoshikawa.saitama.jp/10,0,73.html>

議会を傍聴してみませんか

皆様の選んだ議員が、吉川市を明るく住みよいまちにするため、日常生活にかかわる条例や事業の予算など、大事な案件を審議し、決定しています。

次回の定例会は12月2日(火)に開会される予定ですので、ぜひ、傍聴にお出かけください。

本会議……吉川市役所3階議場にて午前10時から

委員会……吉川市役所第2庁舎2階第1委員会室・第2委員会室にて午前9時30分から開会されます。当日、受付で受付簿に氏名・住所等を記入してください。

なお、傍聴席には限りがあります。定員を超えた場合は傍聴できない場合もありますのであらかじめご了承ください。

常任委員会の審査概要

総務水道



総務水道常任委員会には、条例上程が1議案、平成19年度一般会計決算認定、水道事業会計決算認定の2議案、平成20年度補正予算担当分の1議案の計4議案が付託され、2日間、委員全員出席のもとに審査致しました。

第51号議案 吉川市都市計画税条例では、市民の署名の取り扱いは、に対し、2千人弱の署名をいただき、真摯に受け止めるが、方針変更には至らない。

これからの事業費を踏まえ0.2%にしたというが、その根拠は、また、事業費の積算、時期と用途は予算決算で明らかにするというのが、どんな方法で行うのか、その内訳について。新たな税がかかることで、交付税、補助金削減の心配はないか、には、

長期的な視野において決定したもの。事業費については、

これまでの事業の償還に50、55億円、これからの事業費が40、50億円である。交付税の算出上、都市計画税はすでに導入していることを前提に都市計画、下水道事業などの需要額が算出されており、新型

交付税になった現在でも取り扱いは変わっていない。また、基準財政収入額に及ぼす影響はない、との答弁があり、これらの事業費を算定していくことになるのか、には、

越谷吉川線で5億円程度、三郷流山線で3億円程度、中央地区区画整理で13億円程度、雨水の中央排水区で3億円程度、第1調整池で4億円程度等が見込まれ、事業認可などによる変動もあるが49億円程度見込まれる。一般会計の償還では5千万円程度、下水道の償還が5億円程度見込まれ、5億円から5億5千万円の償還が必要との答弁等があり、都市計画税について、納税義務者が1万4千809人、税額が4億5千781万4千円とあるが、間違いがないかの確認といくらぐらいの税額がどのぐらいの人に課税されるのか、には、

算定額とその人数が報告され、最高額は、1千万円以上の人が1名との答弁でした。以上で審査が終了。反対討論があり、その後の採決の結果、可否同数。よって委員会条例第17条の規定に基づき委員長

裁決で、原案のとおり可決と決定致しました。

第56号議案 平成19年度吉川市一般会計歳入歳出決算の認定について

歳出面では、担当分である款・項・目ごとに用途の説明や成果についての質疑が集中しました。人件費全般では、臨時・非常勤職員が、資料によると259名もいる。非正規職員の増加は社会問題となつている。行政として率先して対応する必要があるのではないかと、

正規職員に準じる臨時職員もいるので今後考えていく。今年の人事院勧告でも非常勤職員の給与の見直しについて示されている等の答弁がありました。

続いて、歳入では、実績としては4億5千万円の増、単年度収支を見ても1億円の赤字、もっと市民要望に比べられたのでは、市税の繰越が4億5千万円と多額である。過去と比べても大きすぎないか等の質疑応答がありました。採決の結果、可否同数。よって委員会条例第17条の規定に基づ

き委員長裁決で、原案を認定することに決定致しました。

第62号議案 平成19年度吉川市水道事業会計決算の認定について

この議案に対しては、質疑がありませんでした。採決の結果、賛成全員でした。よって原案を認定することに決定致しました。

第63号議案 平成20年度吉川市一般会計補正予算(第2号)担当分は、

歳出関係では、もっと市民要望にこたえるべきだ、には、市民要望は多々あり、全てにはこたえきれない。選択と集中の観点からこたえていきたい、との答弁でした。

補正全般、補正予算の要求額は、に対しては、

要求額は積立金を含み約13億7千万円。基金積立金を除き約8億円であった、との答弁があり、今後の補正予算、来年度当初予算編成においては、市民が光を見出せる編成をお願いしたい、等の審議や要望が寄せられ、質疑終了。討論なし。採決の結果、賛成多数で原案のとおり可決することに決定致しました。

常任委員会の審査概要

文教福祉



当常任委員会に付託された案件は、補正予算担当分4件、一般会計決算担当分、特別会計決算3件の計8件で、2日間にわたり慎重な審査を委員全員出席のもと行いました。

がら対応している状況であるとのこと。討論なし、採決の結果、賛成多数で原案のとおり認定。

設への入所者の人数は増えている。平成18年度に報酬単価は引き下げられ、影響はあるものと考えている。施設給付費の全体は伸びているとのこと。討論なし、採決の結果、賛成全員で原案のとおり認定。

なされ、交付決定があったとのこと。討論なし、採決の結果、賛成多数で原案のとおり可決。

第56号議案 平成19年度吉川市一般会計歳入歳出決算の認定について担当分では、屋外プールについて平成19年10月に漏水との指摘があり本格的に今年度調査を実施したが、箇所が特定できず配管のやり直しが必要で来年度の開場に向け指摘箇所の精査をしているとのこと。新給食センターは早めに結論が出るのかに対し、学校給食センター運営委員会に諮問し、PFI方式でと答申をいただき、現在、用地取得について県と協議しているとのこと。福祉関係では、保育料収納率が前年対比1.1ポイント下回ったとあるが、保育料未収問題についてどう考えているかに対し、収納率は低下傾向にある。収納課と違い、通常業務以外で対応するため厳しい状況ではあるが、マニュアルの作成、今年度は差し押さえ1件実施すると共に、随時、分納相談も行いな

第57号議案 平成19年度吉川市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定については、全国的に保険証を持たない子どもがいる世帯があるが、保険証を持たない世帯についてのどのように考えているかに対し、資格証を75世帯に発行しているが、未就学児及び老人保健法の適用を受けている方には資格証の発行をしていないとのこと。採決の結果、賛成多数で原案のとおり認定。

第63号議案 平成20年度吉川市一般会計補正予算(第2号)担当分では、中曽根小学校体育館の雨漏りの修繕等。また、総合体育館、旭公園球場、温水プール(電動バルブの交換、ろ過タンクの交換、女子トイレ・障がい者トイレ等)の修繕を行うとのこと。福祉関係では、障がい者日常用具給付費の増額では、利用者の数も増え障がい者の方に不便が生じないようにするものである。討論なし、採決の結果、賛成全員で原案のとおり可決。

第66号議案 平成20年度吉川市老人保健特別会計補正予算(第1号)では、平成19年度事業の確定に伴う支払い基金や国庫支出金の清算交付と県負担金等の返還である。また、後期高齢者医療保険制度が開

算の認定については、後期高齢者医療保険制度が開始され、老人保健特別会計はいつまで残るのかに対し、平成21年度までとのこと。討論なし、採決の結果、賛成多数で原案のとおり認定。

第59号議案 平成19年度吉川市老人保健特別会計歳入歳出決算の認定については、後期高齢者医療保険制度が開始され、老人保健特別会計はいつまで残るのかに対し、平成21年度までとのこと。討論なし、採決の結果、賛成多数で原案のとおり認定。

第64号議案 平成20年度吉川市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)では、前期高齢者交付金の減額はの質疑に対し、65才以上74歳までの被保険者の加入率に応じて財政調整している。交付金について市が決定するものではなく、社会保険診療報酬支払い基金で計算を行って全体の調整が

第68号議案 平成20年度吉川市介護保険特別会計補正予算(第1号)では、繰越金があり、8千万円ほどの実質収支となっており、国などへの負担金の精算や、事務費や負担金の精算を行うと残りは約2千万円で、基金に積み立てることになるが、3年間の収支としては約2千万円積み立てても厳しいと考えている。今回積立できるのは、昨年度の施設給付が予定よりも少なかったからであるとのこと。討論なし、採決の結果、賛成

第61号議案 平成19年度吉川市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定については、施設サービス費が減少している。報酬単価などが影響し、今後も続くのかの質疑に対し、施

第62号議案 平成20年度吉川市一般会計補正予算(第1号)では、平成20年度末の一般会計歳入歳出決算の認定について、一般会計歳入歳出決算の認定については、後期高齢者医療保険制度が開始され、老人保健特別会計はいつまで残るのかに対し、平成21年度までとのこと。討論なし、採決の結果、賛成多数で原案のとおり認定。

第65号議案 平成20年度吉川市一般会計補正予算(第1号)では、平成20年度末の一般会計歳入歳出決算の認定については、一般会計歳入歳出決算の認定については、後期高齢者医療保険制度が開始され、老人保健特別会計はいつまで残るのかに対し、平成21年度までとのこと。討論なし、採決の結果、賛成多数で原案のとおり認定。

第67号議案 平成20年度吉川市一般会計補正予算(第1号)では、平成20年度末の一般会計歳入歳出決算の認定については、一般会計歳入歳出決算の認定については、後期高齢者医療保険制度が開始され、老人保健特別会計はいつまで残るのかに対し、平成21年度までとのこと。討論なし、採決の結果、賛成

常任委員会の審査概要

建設生活



9月定例会の委員会審議について報告をいたします。委員会の審議案件は7件でした。第53号議案 市道の路線認定及び廃止については、道路の移管と廃止路線の地権者の廃止の意向確認があり、全員賛成でした。

第54号議案 工事請負契約の締結については、最低制限価格の設定と調整池完成時の治水効果を確認し賛成全員でした。

第56号議案 平成19年度吉川市一般会計歳入歳出決算の認定については、
①市民参画の考え方
②自治会加入率
③ごみ減量目標値と達成度
④市内農家への補助内容
⑤東埼玉テクノポリスの拡張事業

⑥洪水ハザードマップ
⑦道路維持費の減額理由
⑧中川、江戸川、大場川の治水事業の進捗状況
⑨周辺地区整備事業の都市計画決定の時期・指標
⑩中央土地区画整理事業の進捗状況と見直し
⑪越谷吉川線の進捗と負担は等の質疑があり、以下の答弁

がありました。

①既存の補助団体は自主的な財源確保や自助努力、自立に向けて支援します。

②全91自治会の全体加入率は79・4%で最低は45%、最高は100%です。

③一人当たり897gの目標に対し895・5gで、総資源化率は18・42%の目標で19・83%、最終処分量は1972tの目標に対して2193tです。

④認定農業者支援事業補助金200万円、家畜伝染病防除対策補助金、水田農業活性化補助金です。

⑤都市計画の順位付けて、武操周辺地域が1位、東埼玉テクノポリス拡張は2位となり、20年度は開発手法等を検討・研究します。

⑥9月1日に自治会に1部配布し、地域版は地震ハザードマップとあわせ来年4月頃に全戸配布を予定。集中豪雨の道路冠水箇所は、早い時期にホームページに掲載します。

⑦補修工事個所は6か所で、施設修繕料等が減少しています。

⑧江戸川堤防強化対策事業が

平成16年度に着手し、概ね10年で完成予定。中川改修は平成18年度着手し、平成22年度の完成を目指し、大場川は東大場川合流地点まで完成し、今後三郷市内の二つの橋梁拡幅工事の完了後、吉川区間の改修に進む予定です。

⑨平成22年度を目標とし新駅設置、資金計画、地権者の合意形成が重要です。

⑩使用収益は全体面積約74・8haのうち、19年度末では40・1haで進捗率は54%。

事業費は全体が144億4千万円で、19年度末では69億5千100万円で進捗率48%です。

⑪8月末の進捗は用地買収済み2件、物件調査済み9件です。事業計画では総事業費65億円のうち市負担は約4億5千万円です。等の答弁があり賛成多数で認定されました。

第58号議案 平成19年度吉川市下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定については、未

接続の理由はとの質疑があり、費用負担、家の建替え時に行うなどが理由との答弁で賛成全員でした。

第60号議案 平成19年度吉川

市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定については賛成全員の認定でした。

今年度の補正予算関係では第63号議案 平成20年度吉川市一般会計補正予算(第2号)担当分は、

①市内犯罪の発生状況

②越谷吉川線の進捗率と建物移転状況

等の質疑があり、答弁として①平成19年は1204件で、昨年比較では増加しています。

自転車盗、車上ねらい、街頭犯罪、器物破損が犯罪内容です。

②今年度は、さくら通りから約200mの道路築造工事予定で建物移転補償契約は約7割が終えています。

との答弁があり賛成多数で可決しました。

第65号議案 平成20年度吉川市下水道事業特別会計補正予算・第67号議案 平成20年度吉川市農業集落排水事業特別会計補正予算では賛成全員で可決されました。

都市建設部及び市民生活部所管の広範な審議でしたが、長時間にわたる慎重な審議内容でした。

一般質問

市政に対する

一般質問

一般質問は9月19日・22日・24日の3日間にわたり、11人の議員が活発な論戦を展開しました。
※質問・答弁とも質問者が要約しました。

民間保育園への 看護師配置 市が責任持つて

高野 昇

(問) 厚生労働省が配置の方針を打ち出したが未だ具体化されていない。あらためて民間保育園の園長先生と保護者のみなさんから看護師配置を望む声が出されている。公立保育所には市の独自財政で看護師が正規職員として配置されている。保育の現場に看護師が必要という理由に公立や民間の区別はない。待機児童の多くが乳幼児であることや、保護者は公立も民間も同じ保

育料を払っている点からも民間保育園にも市の責任で看護師を配置すべきである。

(答)健康福祉部長 看護師の必要性は了承しているが、国の方で来年度の予算にも要求しておりますので、それをみながら検討していきます。

父子家庭にも 母子家庭同様の支援を

(問) 配偶者のいない「ひとり親家庭」が増えている。ひとり親家庭への支援策の多くが母子家庭が対象となっており父子家庭は対象外である。生活困窮の実態は父子家庭も母子家庭同様であり、同様の支援が必要ではないか。
(答)健康福祉部長 制度として検討してもいい部分があるが

国のお金も入っているのに、市単独で実施すると財政的な負担も出る。今の市の財政状況のなかでは難しい。

二郷半水路沿いの 桜並木の遊歩道の整備を

(問) 遊歩道の路面がゆがんだり、アスファルトがはがれたり、縦方向のひび割れもでき、自転車や乳母車、シルバーカーの車輪がはさまれそうな危険な状態となっている。

(答)都市建設部長 現地を調査したところ舗装の亀裂や段差が確認され、危険な箇所について、舗装の打ち換え工事等を実施しました。今後も危険な箇所を発見しだい随時補修してまいります。



青色灯パトロール車 (旭地区センター)

パトロール

ステーション

設置について

松澤 正

(問) 平成18年から、交番増設の要望をしてきたところ、パトロールステーションの設置

をしていくという答弁であった。約束通り、当初予算、今回の補正予算で予算化され、これから稼働していくが、その時期と運用方法を知りたい。

(答)市長 10月中旬に開所していく。現在、自主防犯団体等の中で準備委員会を設置し、会議を開いている。その中で、運用方法等を協議している。

(問) 団体のみならず、個人ボランティアの呼びかけは。

(答)市民生活部長 団体個人を問わず、広く認知していただくために、考えていく。

(問) 大変有り難いことに、市民団体から青色回転灯パトロールカーの寄贈をいただいた。この車両の活用方法は。

(答)市長 旭地区センター・東部市民サービスセンターに配

置し、自主防犯団体に貸し出しをしていく。

(問) 今後、第二第三のパトロールステーションの予算は。例えば栄町やきよみ野等に設置予定はないか。

(答)市民生活部長 まだ稼働していないので、すぐに答弁できないが、今後検討していく。

屋外プールの今後について

(問) 今夏は安全確認のために、屋外プールを稼働しなかった。調査結果はどうであったか。今後はどうしていくのか。

(答)教育長 流水プール・幼児プールに数十カ所の亀裂が見つかった。また、配管にはさびや腐食が見られた。設置後28年経過していることが要因であるが、利用者の安全を最優先としながらも、来夏の開場を目指していく。

(問) それは大変有り難いことである。改修に伴う概算費用や時期等はどうか。

(答)教育部長 12月議会に設計見積もり等を提出し、補正予算を組んでいきたい。

寄付条例を導入し 自主財源確保と 住民参加のまちづくりを

互 金次郎

(問) 「寄付条例」は、自治体
があらかじめ自然保護や福祉
充実など複数の政策メニュー
を示し、全国の個人や団体に
政策を選んで寄付してもらい、
それを基金として積み立て、
目標額に達したら事業化して
政策を実行するという取り組
みです。

自治体にとっての自主財源
を確保すると同時に、住民参
加型の施策推進を促す効果も
あるといわれています。本年
4月1日現在、29都道府県に
またがる62の区市町村が導入
しています。

新たな財源の確保と市民と
行政の協働のまちづくりの具
体的な施策として、「まちづ
くり寄付条例」の導入を検討
しては。

(答)市長 先進他市の状況を鑑
みても寄付条例の導入をきつ
かけに新たな自主財源を確保

することが出来ると同時に、
市民が寄付という行為により
市民自らの思いを市政に反映
させることができる手法を得
ることにつながると思います。
しかし、このような制度の
実施には解決すべき課題もあ
り、今後寄付をどのような方
法でまちづくりに生かすべき
か、どのような手法により取
り組むことがよいかを検討し
ます。

国の財政支援を活用し住民 基本台帳カードの無料化を

(問) 住基カードは、郵便貯金
や銀行口座の新規開設など公
的な身分証明書として利用で
き、特に運転免許証等を持た
ない高齢者には大変有効です。
平成22年度までの国の財政支
援を活用しカードの無料化は。

(答)市長 本人確認書類として
運転免許証や写真付き住基カ
ードの重要性が高まっていま
す。しかし、すでに1320
枚が交付され500円の手数
料を徴収しており、平成22年
度まで期間を限定した無料化
は市民に不公平感を感じさせ
てしまい、無料化は難しいと
考えます。

国が寄付という行為により
市民自らの思いを市政に反映
させることができる手法を得
ることにつながると思います。
しかし、このような制度の
実施には解決すべき課題もあ
り、今後寄付をどのような方
法でまちづくりに生かすべき
か、どのような手法により取
り組むことがよいかを検討し
ます。

安心して外出できる 「赤ちゃんの駅」 設置を

五十嵐恵千子

(問) 過日、子育て中のヤング
ミセスから「市内の公園や公
共施設へ、授乳やオムツ替え、
親子でのトイレ利用などの配
慮を」との要望がありました。
赤ちゃんと外出した際に気軽
に立ち寄って利用できる場所
として「赤ちゃんの駅」設置
を提案します。ご見解を。

(答)健康福祉部長 専用のベビ
ーシートやベッドが無い公共
施設におきましても、一部の
施設を除き、必要な場所の提
供などは可能であると考えま
す。「お知らせ版の掲示」は
周知の方法を、「マップ・市
ホームページ上への掲載」は
掲載内容などを検討します。

「既存設備の工夫や新設及び
改修での積極的機能導入」は
施設管理者と検討します。

(問) 8月30日のゲリラ豪雨を
ゲリラ豪雨治水対策を

教訓に地域住民と連携し、土
のう積みや通行止めの速やか
な対応を。地域別ハザードマ
ップ作成、災害情報メール等
の導入を。また、特に栄町1
区から9区(加藤平沼線の南
側地域)・保3区・保2区北
等の内水被害解決のため、中
央公民館東側地域等へ調整池
の設置を図る等、都市計画税
導入による、治水対策の充実
を。

(答)市民生活部長 迅速な対応
が求められることから、地域
の自主防災組織等での交通規
制や、事前に土のう・資材配
布する事は有効と考えますの
で、他の地域へも働き掛けま
す。市内道路冠水状況図をホ
ームページに掲載できるよう
現在作業を進めています。

(答)都市建設部長 都市計画税
が決定した事業に活用できま
すので推進案を図ります。

完全予約制「プレミアム タクシー」の導入検討を

(答)政策室長 現状と新駅設
置などの将来的な交通行動を
見据え、交通全体の整合性を
図り、運行形態を研究します。

完全予約制「プレミアム
タクシー」の導入検討を



ベビーベッド (市役所)

単品スライド条項

適用について

小野 潔

(問) 昨今の原油高に伴い物価
の高騰をまねいている現在、
市発注の建設請負業者の方よ
り工事材料の高騰分をなかな
か価格に転嫁できないとの声
があります。そこで当市にお
いても単品スライド条項の基
準を定め適用していくべきと
考えますがいかがですか。

(答)総務部長 9月1日から「鋼
材類、燃料油」の特定2品目
について適用させました。ま



住宅火災警報器

国土交通省が9月10日より対象品目の拡充を図ったことにより本市においても10月1日からの拡充に向けて取り組んで参ります。

国保税の激変緩和措置について

(問) 本年4月より本市において国民健康保険制度が4方式から2方式に改正されました。これにより賃貸マンション、賃貸アパート等に居住されている世帯、特に4人家族以上の世帯の負担額が高くなり家計を圧迫しているという声があります。そこでこのような世帯に対して、昨年より5万円以上超えた分を還付するか、現行の減免措置に20%の減免措置の項目を加えるなどの激変緩和措置を早急に講じ

る必要があると思っておりますが、お考えを伺います。

(答)健康福祉部長 還付の案は財政面において非常に難しい。減免措置の拡充については今後の課題としていきます。

住宅火災警報器の独居世帯、高齢者世帯への設置について

(問) 本年6月より住宅火災警報器の設置が義務化されましたがまだまだ普及がなされていません。民生委員、自主防災組織などの日常活動の項目に加え推進啓発を図っては。(答)市民生活部長 防災組織などの会議の議題の中に入れて検討していきたい。

新駅設置による

弊害を問う

安田 真也

(問) 新駅・跡地の進捗状況は。(答)市長 新駅については平成23年度中開業を目指し、平成20年度から駅舎、ホーム、線路、自由通路などの概略設計

を行っている。跡地については、7月22日、都市計画決定と都市区画整理事業の施工認可が告示された。現在、鉄道運輸機構において調整池等の整備工事発注に向けた準備をしている。

見込みについて

(問) 新駅の見込み乗降客数はどのくらいか。(答)市長 JR東日本からの資料によると、周辺地区の定住を見込んで、1日あたり2万3000人の想定乗降客数である。(問) 新駅整備にかかる全体コストはどのくらいか。(答)市長 新駅設置工事にかかる市負担分約49億円。概略詳細設計にかかる市負担分約1億6千万円。その他東口交通広場の設計費、工事費等がかかる。新駅設置工事、概略詳細設計に関しては、鉄道運輸機構より7割の費用負担があり、実質市では、16億円前後の負担である。また、自由通路については、国庫補助金を使い、市費の削減に努める。

新駅設計は市内商店街、個人商店に打撃をあたえる

(問) レイクタウン、新三郷周辺の大型店開業、そして新駅設置は人の流れを変化させ、吉川の商業が空洞化する恐れがあるか。(答)市民生活部長 人の流れが変わる程の影響はないと考ええる。商店には一店逸品事業等を通して、魅力ある店づくりをすることで大型店と共存できると考える。(問) 住民投票をする考えはあるか。(答)都市建設部長 ない。



新駅予定地周辺

市内、小中学校の

施設整備は

佐藤 清治

(問) 9月補正予算に南中の耐震・大規模改修の予算が計上されたが、残る施設の年次計画を示すべきではないか。(答)教育長 事業の見直しや前倒しが可能か検討しました。その結果、国の20年度補正予算に耐震補強などの補助項目が組み込まれる予定ですので北谷小学校が採択されれば20年度3月補正予算で実施、南中学校舎を21年度、当初予算で実施する考えです。

平成22年度には三輪野江小の耐震と大規模改修を終わらせたいと考えております。以上の計画は北谷小が国の20年度補正予算の対象にならない場合、南中などの計画が遅れることも考えられるので、国・県に対し、補助の確保のための要望に努めていきます。体育館については平成22年度までに第2次診断を行い、



南中学校

27年度までに耐震補強と改修工事を終了させる計画でございます。

北谷小校舎の現状は

(問) 日本共産党市議団では学校訪問をした。教育委員会として現状をどのように把握しているのか。

(答) 教育部長 トイレの關係については大規模改修で対応させていただきます。

一階の水飲み場の雨漏りの跡については配管が上にあり、ここから漏れているようです。これも修理をさせていただきます。

非常階段については補強がいいのか、全て取り替えた方がいいのか、

がいいのか協議しているところでございます。
 屋上のモルタルのはがれ、防水シートのはがれ、この辺については改修しながら確認させていただきたいと思っております。

④政府は、特養ホームなどの施設抑制をすすめているが、吉川市ではどのような施設やサービスが求められているのか。施設の拡充策は。

介護保険

見直しにあたっての

方針は

遠藤 義法

(問) 来年4月は、介護保険の3年ごとの見直しを迎えます。今後の方針、来期の見直しについて伺います。

①介護報酬の低さが雇用や賃金、事業所の経営など様々な問題となっておりますが、市内事業所・職員の実態は。

②保険料の改正見直しは。

③「介護予防」や「自立支援」の重視がいわれ、介護を受けられない人も出てきたが、実態はどう変わったか。

ついて伺います。
 (答) 市長 平成21年〜23年の実設計画見直しでは障害者施設や新駅設置、駅南の小中学校建設がある。②中央土地区画整理事業で平成22年までに8億円、新駅で駅建設費のほか2億円の事業費などがある。③取りまとめ作業を行い、財源は精査している。

農業予算の削減を

もとに戻し

水路整備の

小林 昭子

(問) 市の農林水産業費は、平成14年の3億9千685万円に比べて、平成19年には2億1千645万円と削減されており、額にして1億8千万円、割合では、45%の削減率です。市単独柵渠工事を比べると平成14年6千743万円あったものが19年には、609万円に激減しています。

農業を取り巻く環境は大変厳しく、本来ならば予算を増やして対応すべきところですが。



用水路

削減された予算額をもとに戻して、水路整備の要望に応えるべきではないか。

(答) 市長 用排水路や農道などは農業の生産基盤として重要な施設であると考えています。しかし、水路については、要望が多く、整備が追いつかないのが現状です。

平成19年度から、国と県の予算で、用地の保全・維持管理を市民協働で行う「農地・水・環境保全向上対策事業」をすすめています。

市としては、今後ともこのような活動を支援していききたいと考えています。

新木堀の安全対策

(問) 新木堀(三輪野江地域)

財政計画、財政見直しは

(問) 財政計画についてこれまでの答弁では、実施計画の見直しにあわせて後期基本計画の5年間ぐらいはできると述べているが、①第4期実施計画事業見直しの項目と内容。

②住宅開発、新駅設置に伴う今後の事業計画と費用(施設建設含)の見直しは。③歳出から算定する歳入の見直しに

は、年に何度も道路や田へ冠水し、危険でもある。対応は。
(答)市長 侵食の著しい箇所を補修することを平成20年度中に実施するための補正予算を要望しました。

戦争体験を子どもたちに語り継ぐ平和教育を

(問) 戦後63年、戦争体験を語り継ぐ事は大変重要になっている。市での取り組みは。

(答)教育長 戦争体験者自身の言葉は教科書による勉強よりはるかに心に響くものです。

市内小中学校でも複数で取り組んでいます。今年は市民の方からも、体験を語り継ぐ「人材バンク」登録をした方もいます。今後も重要な平和教育としてすすめていきます。

治水対策

について

稲垣 茂行

(問) 8月30日の集中豪雨による浸水被害状況と対応経過は。



公用車

(答)市民生活部長 被害状況は床上浸水が住居1棟、その他8棟。床下浸水は住居8棟。道路冠水は市内30ヶ所。雨量は17時～18時が55mm、30日一日では134mmに達した。

対応経過については、午後5時10分、気象庁より警報が出された後、市民安全課を中心に108名の職員が参集。市民からの電話対応や排水ポンプの稼働状況を把握。その後、冠水状況把握のため、市内巡回と交通規制、土のう配布に従事、翌朝午前4時まで対応。31日は、現地調査の補足、消毒作業を実施した。

(問) 自主防災組織との連携と今後の課題は。

(答)市民生活部長 水の出やす

い地区には、毎年5月に土のうを配布。今後は、水防体制の見直しや防災団体との連携を強化し、迅速な対応が出来るよう努めたい。

(問) 今後の治水対策について。対策のキメ手は、河川改修と調整(節)池だと考える。

市内の調節池は、きよみ野運動公園と駅南UR事業地内の吉川調節池(H21年完成予定)。調整池は、中央土地内の第1調整池(H22年完成予定)、アクアパーク、テクノポリス内にある。

これらの地区では、見通しがついたが、栄町二区、保三・四区、保一丁目等は、解決のメドが立っていない。これらの地区にも、上第二大場川隣接地に調整池が必要と考えるが、見解は。

(答)都市建設部長 総合治水計画に基づき、大場川や上第二大場川の改修を進めている。調整池や雨水管渠の整備が必要と考えるが、多大な費用がかかるため、直ちに行うことは出来ない。しかし、民生生活に必要不可欠なことなので、排水路の整備・改修、ポンプの設置等の対策を実施したい。

新駅・周辺は

市民負担なしで!

伊藤 正勝

(問) 新駅開業まで3年半。周辺整備事業を含め市民の税金は投入しないとの方針を堅持してほしい。新駅、駅前広場武操跡地の整備を含め、市の負担分と跡地保有の運輸機構の負担額の推計はいくらか。

(答)市長 負担は極力少ないよう努めている。駅舎に15億円弱、広場に1億円、16億円程と想定。運輸機構は基盤整備の事業費だけでも85億円程の負担になるとみている。

(問) 新駅予定地前の旧JRゲランド2.8haの現価での購入は相当のメリット。跡地だけで年間1億円前後の税収も見込まれる。16億円であれば、現在の市民の税金は投入しないと「強弁」することは出来る。問題は周辺整備事業。都市機構の手によるきよみ野、駅南に市税は投入されていない。中央土地には、これまで補助

金20億円を支出。総事業費の15%を限度に支出する市の区画整理事業補助金交付要綱は見直すべきだ。

(答)市長・建設部長 中央土地は放置できない状況の中で組合による区画整理事業として整備をお願いした。雨水対策を含め周辺のまちづくりにも役立っており、支援している。必要な補助であり、要綱の見直しは考えていない。

(問) これからの事業は、減歩を軸に新に価値を生み出して進めるべき。市税投入の時代状況ではない。不況の深化が予想されるが周辺整備事業に22年度着手の計画は変更ないか。

(答)市長 周辺整備と東埼玉テクノポリスの拡張事業は同時、平行して進める計画だったが、県の優先順位をつけて欲しいとの要望のもと「周辺」を第1順位にした。県も事情は良く承知しており、地権者の合意を得て22年度都市計画決定、事業認可の方針で動いている。
(問) 市民が主役、内部だけでなく、駅舎、広場、駅名などに市民の声を生かして欲しい。



市役所屋上から見た議場

議 会 日 誌

【7月】

- 3日 東埼玉資源環境組合 全体行政調査研修（寄居町・
～4日 新潟県新潟市）
- 8日 総務水道・文教福祉常任委員会合同行政視察（栃木
県大平町・群馬県太田市）
埼玉県市議会議長会第4区議長会役員会
- 10日 江戸川改修促進期成同盟会総会
- 11日 吉川・松伏消防組合議会定例会
- 16日 自由民主党吉川市議員団会派行政視察（三郷早稲田
民間交番・吉川つばさ保育園・ききょう苑・就労継
続支援B型事業所「ひだまり」）
- 17日 埼玉県市議会議長会第4区議長会・新旧議長意見交換会
～18日（福島県二本松市）
- 25日 埼玉県市議会議長会第4区議長会議員研修会（春日部市）
- 28日 平成20年度全国高等学校総合体育大会開会式（さいたま市）
ハンドボール大会開会式（三郷市）

【8月】

- 1日 日本共産党吉川市議員団会派行政視察（市立北谷小学校）
- 2日 平和のつどい
- 5日 公明党吉川市議団会派行政視察（吉川フレンドパーク）
- 12日 浦和野田線建設促進に関する要望活動（埼玉県庁）
- 20日 公明党吉川市議団会派行政視察（滋賀県米原市）
- 22日 会派代表者会議
- 26日 議会広報委員会
自由民主党吉川市議員団会派行政視察（東日本高速
道路（株）岩槻道路管制センター）
- 28日 議会運営委員会

【9月】

- 2日 第5回定例会本会議（開会、議案上程）
- 4日 本会議（議案審議）
- 5日 本会議（議案審議）
- 9日 委員会（総務水道常任委員会・文教福祉常任委員会…議案審査）
- 10日 委員会（総務水道常任委員会・文教福祉常任委員会…議案審査）
- 11日 委員会（建設生活常任委員会…議案審査）
- 12日 委員会（建設生活常任委員会…議案審査）
- 18日 本会議（委員長報告）
- 19日 本会議（一般質問）
- 22日 本会議（一般質問）
- 24日 本会議（一般質問、閉会）
- 30日 議会広報委員会

第6回（12月）定例会の予定

- 12月 2日（火）開会・議案上程
- 12月 4日（木）議案審議
- 12月11日（木）議案審議（委員長報告）
- 12月12日（金）一般質問
- 12月15日（月）一般質問
- 12月16日（火）一般質問・閉会

編 集 後 記

地球温暖化の影響が、8月末集中豪雨が全国で発生し、吉川市においても床上浸水9棟、床下浸水8棟、道路冠水30箇所。被害に遭われました皆様方には心よりお見舞いを申し上げます。今、盛んに協働という言葉が叫ばれていますが、今回はまさしく自治会あるいは自主防災組織が機能し、行政職員と深夜まで土のう積みや交通整理等を行っているのを目のまえにいたしました。地域住民と行政がお互いにパートナーとして認め合うことが大切だと感じました。

さて、9月議会は9月2日から9月24日まで開催されました。今定例会では市民の皆様方に大いに関心のある都市計画税案が上程され、議会においても慎重に審議をし可決成立いたしました。人と自然が調和したまちづくりのため、今後一層都市基盤の整備に向け財源を有効活用できるよう議会としても見守っていきたいと考えています。

(M・N)

お 知 ら せ

目の不自由な方のために、『よしかわ議会だより』のテープ版を朗読サークル「きんもくせい」で作成しています。ご家族やお知り合いの方で、ご希望される方は、下記までご連絡ください。

連絡先 吉川市吉川二丁目1番地1

吉川市議会事務局 ☎048-982-9421（直通）